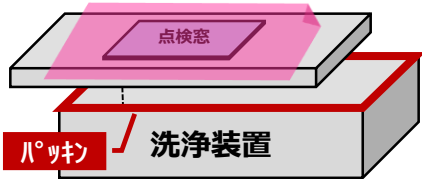


# トリクロロエチレン排出抑制の自主的な取り組み

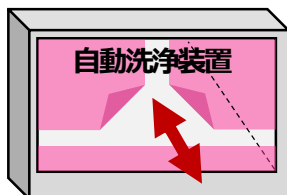
トリクロロエチレンは揮発性の高い物質のため機械装置などの故障箇所などから排出されてしまいます。適切な管理で従業員の健康被害防止、使用量の削減、回収装置などのメンテナンス経費の圧縮を図ることができます。

## ✓ 洗浄装置

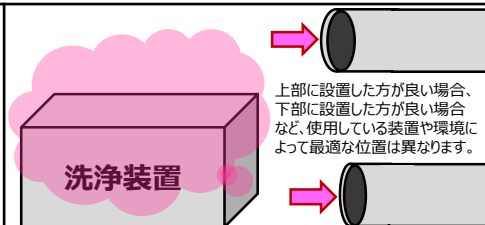
- ・本体に原因 …… 老朽化による密閉不良による排出
- ・局所排気が原因 …… 吸引不足による排出
- ・運転管理が原因 …… フタが密閉されていない、フタを空けたままにしていることによる排出



フタ部分や点検窓のパッキン等の定期的な交換。こまめなフタの開け閉め。点検窓はビニールシートを設置するなどの工夫ですき間からの漏れ出しを防止



自動洗浄機のワーク出入口にカーテンを設置し、開口部を必要最小限にして装置からの排出を防止

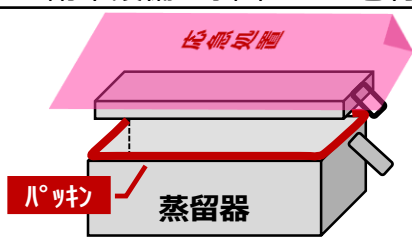


・洗浄機周辺の吸排気口の設置位置を作業状況に応じて適切な位置に設置

※ビニールシート等はゴムバンドや磁石などで固定

## ✓ 蒸留機、水分離器などの付帯設備

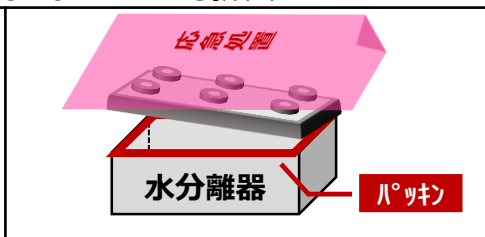
- ・付帯設備に原因 …… 老朽化によるすき間からの排出、フタが密閉されていないことによる排出



蒸留器のフタ部分のパッキンを定期的に交換しすき間からの漏れ出しを防止



ろ過器受けなどのタンクの開口部やフタ部分のパッキンを定期的に交換し、すき間からの漏れ出しを防止

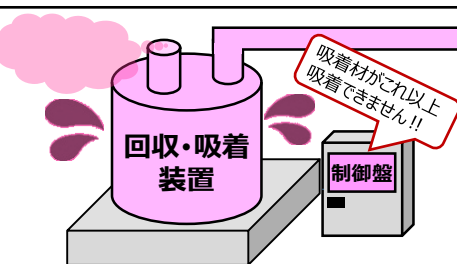


水分離機のフタまわりのパッキンを定期的に交換し、すき間からの漏れ出しを防止

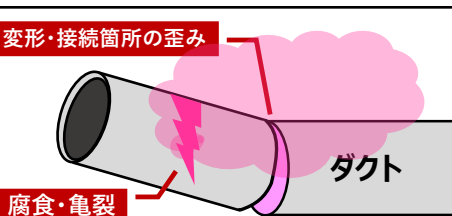
※ビニールシート等を用いた応急処置の場合、ゴムバンドや磁石などでしっかり固定する。

## ✓ 排出ガス回収装置と排出口

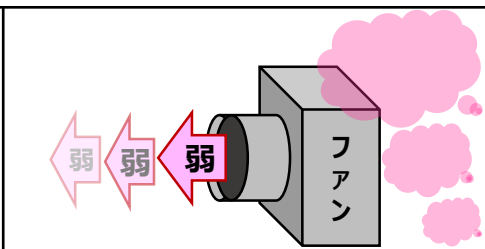
- ・回収装置に原因 …… 活性炭の劣化による吸着能力の低下、吸着能力超過により吸着されずに排出
- ・局所排気が原因 …… 吸引不足や吸引ダクトの設置位置が不適切などによる排出



交換時期の管理と定期的な吸着材の交換



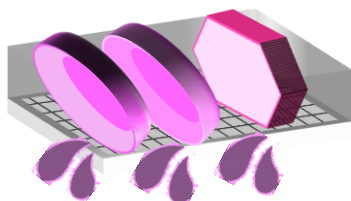
吸排気ダクト管の確認と補修（歪み、接続部の締め付け不良、亀裂など）。



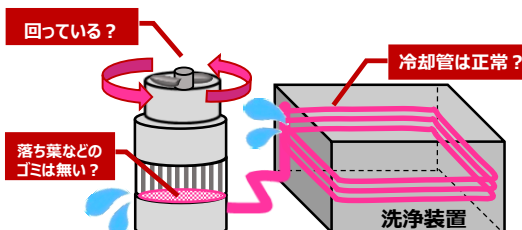
吸排気装置の異常や能力不足

## ✓ その他

- ・ワークの液だまりの持ち出しによる排出、冷却能力不足による回収量の減少による排出、作業場の自然風や冷暖房機などの風向き



洗浄するときに液きりや液だまりが出来ないように並べ方を工夫



クーリングタワーなどの維持管理と冷却液配管の目詰まり等の点検。直射日光が当たるのを避ける(日陰を作るなどの工夫)



洗浄装置に風が直接当たらない工夫

(注意) これらの取り組みは参考であり一時的な対応に限られるものが含まれています。機械装置の改修などが必要な場合がありため販売店や環境検査機関にご相談ください。また、事業上でトリクロロエチレンを取り扱う場合は、「三条地域振興局・環境センター(電話：0256-36-2231)」に届け出が必要になります。